

スタジオから

○当センターで稼働しているスタジオは、テレビスタジオが2つとラジオスタジオが2つであり、これらを駆使して60年度にはテレビ番組600本、ラジオ番組600本を制作する予定です。

教科の数にすればテレビで32、ラジオで35となり、全て61年度に放送を予定しているものです。

○4月以降取材等のおわった教科から順次収録を開始していますが、4月、5月は年度初めでもあり、まだまだ準備のために忙殺される時期であるため、収録はぼつぼつという状況でした。

○6月に入ると俄然収録も活況を呈し、新しくスタートした番組は、次の6番組です。(テレビ)

日本の教育	(放送大学教授	深谷昌志)
基礎生物学	(東京工業大学教授	平本幸男)
	(東京大学教授	毛利秀雄)
教育社会学	(お茶の水女子大学教授	河野重男)
	(上越教育大学教授	新井郁男)
財政と金融	(東京大学教授	貝塚啓明)
アメリカの言語文化	(東京大学教授	本間長世)
宇宙の構造と進化	(放送大学教授	小尾信彌)

()内は主任教授

○6月の取材は毎年のがら雨がディレクターを悩ませるものです。天気予報と空模様をにらみながらのロケでは毎日、てるてる坊主を作りたい気分になります。

「技術史・技術論」を担当している熊谷ディレクターも雨に悩まされた一人です。

6月26日、生野銀山ロケで集中豪雨に出会い、普段はわずかな水しか流れていない滝をダム放水路のように音を立てて水が流れ落ち、この音で吉田光邦講師の話がかき消されて収録不能、あわてて場所を移動する始末でした。

また、銀山抗道では豪雨の影響で水滴がポタポタ、カメラと講師が濡れないように、穴の中で傘をさしてのロケとなり、3時間の予定が倍の6時間もかかって何とか撮り上げることができました。

とにかく雨はディレクター泣せの代物です。

スタジオから